

安全・適正就業だより

令和3年12月10日発行 <第3号>

編集・発行 公益社団法人寄居町シルバー人材センター 安全・適正就業委員会

安全・適正就業委員会を開催

委員長 徳丸 義秋

11月9日(火)に、令和3年度第2回安全・適正就業委員会を開催しました。

委員会では、10月14日と15日に実施した就業現場の安全巡視について審議しましたので、その内容をお知らせします。

職場巡視の結果、作業の状況は概ね良好でしたが、刈払機の使用方法和燃料の管理について、改善すべき点が見られました。

刈払機の不適正な使用・・・

◎安全装置の固定……非常時にエンジンを停止させる安全装置をテープ等で固定し、安全装置が作動しないようにしていた。

◎飛び石などを防ぐ安全カバーを取り外したり適正位置からずらしたりする不適正な使用がみられた。

ガソリンを詰め替えて運搬・使用・・・

◎ガソリン携行缶を高温下に保管していた。
◎混合ガソリンをペットボトル等へ詰め替え、使用・運搬していた。

◎これらの行為は、シルバー人材センター安全就業基準及び消防法第10条、第16条に抵触する可能性があるため、直ちに改善する必要がある。

お知らせ文書で改善のお願い・・・

◎刈払機を頻繁に使用する植木草刈班全員に注意を促すためお知らせを配布する。

「ヒヤリハット」。皆さんがよく耳にする言葉だと思いません。ヒヤリハットとは、日常生活や職場で災害に



ヒヤリハットを軽視するな

委員 千島 政昭

至らなかった時や、あるいは災害の一步手前の事象で済んだ時などに、「ヒヤリ」とした「ハット」したことから、そう呼ばれていきます。

「ハインリツヒの法則」とは、ハインリツヒの法則とは、二件の重大事故の裏には29件の軽微な事故と300件の怪我に至らない事故

がある」というものです。労働災害の実例330件の災害を総計分析した結果、一件の重大災害の背景には、29件の微小災害があり、さらにその背景には300件のヒヤリハットが隠れているというものです。

ヒヤリハットを放置していると、いつか必ず災害が発生します。300件のヒヤリハットを軽視せず「対策」をしていくことが大切です。例えば……、

家の駐車場から道路に出るとき「ヒヤッ」とすることが再三発生する。ならば、対策として出口にカーブミラーを取り付けたことで、確認方法がより容易になり、ヒヤリハットが減少します。

「安全と健康は全てに優先」します。大きな事故を防ぐため、隠れたヒヤリハットを見逃がさないよう、日頃からの気配り目配りを大事にしたいものです。

学校校務員としての安全安心とは何か



委員 田島 博之

寄居小学校の校務員として1年と5カ月目を迎えています。小学校校務員ですから日々子ども達に囲まれ、元気な朝の挨拶から一日がスタートします。

勤務開始は午前7時30分、日頃から余裕を持って小学校へ着くように心がけています。また、勤務日は体調管理に特に気をつけ、疲労を抱えての勤務は出来るだけ避けています。**ゆつくり慎重に運びます**

仕事としては、可燃物等の処理、給食運搬業務、学校環境整備です。給食では、給食室から送られて

くる台車(ご飯・パン・牛乳)、コンテナ(おかず・食器)を2階・3階の配膳室へ手際よく並べます。特に、エレベーターから取り出すコンテナは重いので自分に気合を入れて運びます。

その後、私の担当である3階にある3年生・4年生・5年生の教室の近くにある所定の場所まで台車とコンテナを運びます。コンテナ等を運んでいる最中、子ども達が教室等から飛び出してコンテナ等につぶつからないように、ゆつくりかつ慎重に運ぶようにしています。

清潔で綺麗な境域環境に

次に、学校環境整備です。清潔で綺麗な環境は子ども達の心に大きな影響を及ぼします。

寄居小学校は立派な樹

木が沢山あり、手入れをしなければ樹木が伸び放題になつてしまいます。手入れした後の樹木の様子に特に気をつけています。枯れ枝が危険な状態になつていないかも大切な注意点です。

剪定や除草は特に注意を

樹木の剪定や除草をする場合、次の点に特に注意しています。

■ 学校全体が子ども達の遊び場所になつていますので除草剤は使用しない。

■ 草払機を使用する場合、飛散した石がガラス等破損しないよう飛散防止用の板等使用し特に慎重に業務を進める。

■ チェンソーやヘッジトリマーを使用する場合、決められた服装に着替え、刃が身体に当たっても怪我をしないようにする。

■ 高い樹木を切る場合、三脚をしっかりと固定し、ヘル

安全運転で笑顔の新春を

令和3年の埼玉県内の交通事故は12月1日現在、人身事故が14,821件発生し、105人の方が亡くなりました。また、17,642人が負傷しています。

交通統計によれば、12月は交通事故件数が最も多い月です。今月は特に慎重な運転を心がけ、笑顔のまぶしい新春をお迎えください。

メットをかぶり、落下防止のために樹木と自分の体に安全ベルトをつける。**子ども達の安全を第一に**以上の事に気をつけて業務を遂行しています。また、使用している機具等の整理整頓にも心がけています。

高齢になつても働ける喜びを大切にしながら、子ども達の安全・安心を第一にして仕事を進めています。

上里町シルバーで痛ましい死亡事故

9月6日午後2時ごろ、上里町の町有地で草刈り作業をしていた上里町シルバー人材センターの会員(73歳)が、使用していた自走式刈払機の下敷きになり死亡する痛ましい事故が発生しました。

今回の事故は、兎玉工業団地遊水地グラウンドで除草作業中に、傾斜角約20度の法面から、自重約200kgの刈払機がバックしてしまい、支えきれずに下敷きになつてしまったものです。

衷心よりお悔やみを申し上げますとともに、会員の皆さまには、作業に適した服装はもとより道具類の適正使用を遵守し、作業現場の下見や確認などをを行い、事故防止に充分留意いただきますようお願いいたします。